

仕様

品 名	ファン付LEDライト	明 る さ	約900lm（最大時）	本体重量	ソケット：約480g
品 番	ソケット：DLF-NS900D	調光機能	3段階		引掛シーリング：約500g
	引掛シーリング：DLF-NH900D	風量設定	3段階	推奨周囲温度	約5～35℃
電 源	AC100V 50/60Hz	安全機能	ファンのみ約1時間で自動停止	付 属 品	・リモコン
定格消費電力	LED：約 15 W （調光最大時）	本体サイズ	ソケット：約φ245×H213mm		使用電池：単4形アルカリ乾電池×2本（別売）
	ファン：約 8 W （風量最大時）		引掛シーリング：約φ245×H203mm		・取扱説明書

修理を依頼される前に

製品の動作がおかしい時は下記を参考に点検をおこなってください。 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない
処置をしても異常がある場合は、必ず壁スイッチをオフにしてお買い上げの販売店が弊社お客様窓口までご連絡ください。

症状	考えられる原因	処置方法
点灯しない ファンが回らない	電源（壁スイッチなど）がオフになっている	電源（壁スイッチなど）をオンにしてください
	ブレーカーがオフになっている	ブレーカーをオンにしてください
	口金または端子が配線器具に確実に取り付けられていない	口金または端子を配線器具に確実に取り付けてください
ファンが回らない	ファンに異物がからんでいる	異物を取り除いてください
	リモコンで動かしていない	リモコンの風量ボタンで作動します
異音がする	配線器具に正しく取り付けられていない	正しく取り付けてください
	口金または端子と配線器具がゆるんでいる	
	本体の一部が周辺の物と接触して振動している	本体が他と接触しないように角度調整してください
リモコン操作をしても 動作の設定ができない （動作が変化しない）	リモコンの電池が切れている	新しい電池を入れてください
	リモコンの電池が正しく入れられていない	正しく電池を入れ直してください
	受光部（照明部）に向けて操作していない	受光部に向けて操作してください

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを
注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示
を本体におこなっています。

	〔製造年〕（本体に西暦 4 桁で表示してあります） 〔設計上の標準使用期間〕 5 年
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による 発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※右表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上
支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な
故障を保証するものでもありません。

標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	
	周波数	50Hz / 60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷（風速）	製品の取扱説明書による
	運転時間	8h / 日	
	運転回数	8回 / 日	
	運転日数	110日 / 年	
規定時間 など	ファン		
	スイッチ操作回数	550回 / 年	

（経年劣化とは）長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

保証とアフターサービス ※必ずお読みください

【保証書について】 必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。
【保証期間】 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中に故障した場合は、販売店に保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
【保証期間を過ぎているときは】 お求めの販売店にご相談ください。修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償にて修理いたします。
【アフターサービスについてのご不明な点は】 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社のお客様相談窓口にお問い合わせください。

保証書		弊社商品をご購入いただいた皆様に、安心してご使用していただくため、優れた技術と部品で製造され厳密な検査を経た製品を出荷するようにいたしておりますが、万一製造上に起因する不具合や故障が生じた場合、下記の保証規定により無償修理をおこなうことをお約束するものです。
品名	ファン付LEDライト	【保証規定】 1.取扱説明書の通り通常使用により、保証期間内に万一本機材料及び組立工程における欠陥、または不具合や故障が生じた場合、本保証書にて、無償で交換、修理いたします。ただし、以下の理由の場合には原則として保証書は適用されません。 ⑤誤った使用方法、取扱不注意、保管上の不備による故障及び損傷。 ⑥天災地変・火災や異常電圧等による外的要因に起因する故障および損傷。 ⑦お買い上げ後の輸送・落下等による故障および損傷。 ⑧不当な修理や改造による故障および損傷。 ⑨レンタル・リースに使用された場合の故障および損傷。 ⑩本保証書の紛失や提示がない場合。 ⑪本機本来の使用目的以外での使用。 2.保証期間が過ぎた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償での修理となります。 3.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
品番	ソケット DLF-NS900D / 引掛シーリング DLF-NH900D	
保証期間	お買い上げ日より1年間（ただし消耗品は除く）	
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	ご芳名	見本
	ご住所 〒	
取扱販売店名	電 話	
	住所・店名	
	電 話	

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。 販売店のみなさまへお願い：ご担当者は必ず全項目をご記入の上、お客様にお渡しください。

お客様窓口 ☎ TEL 0794-63-5127

【受付時間】 9:00～12:00 / 13:00～17:00（月曜～金曜） ※祝祭日・年末年始・夏季休業を除く

株式会社 大進

〒675-1331 兵庫県小野市神明町152-1

0250311



保証書付 取扱説明書

ファン付LEDライト

ソケット DLF-NS900D（昼光色） / 引掛シーリング DLF-NH900D（昼光色）

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 本製品を正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。 なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのもので『警告』『注意』に分けて説明しています。

※誤った使用により商品が破損や故障、人体への影響、その他損害が生じた場合、弊社では一切の補償および責務を負いかねますのでご了承ください。

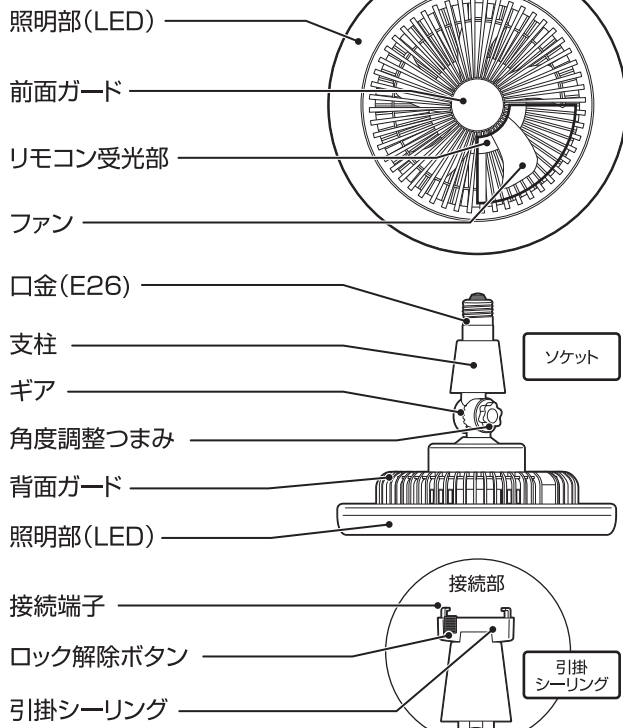
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等に関わる拡大損害を示します。）

警告			
 禁止	交流100ボルト以外では使用しない 直流や交流200ボルトで使用すると火災や感電の原因となります。	 禁止	端子が破損したり、配線器具との差し込みがゆるい時は使用しない 落下によるけがや感電・ショート・発火の原因となります。
	異常を感じた場合、電源を切る 感電・ショートの原因となります。		このような場所には取り付けない 火災・損傷・故障・落下の原因となります。 
	器具のすきま等に金属類を差し込まない 感電・ショートの原因となります。		乳幼児の手の届くところでは使わない けが・感電の原因となります。
	取り付けできない配線器具に無理に取り付けない 火災・感電・落下してけがの原因となります。 〈取り付けできない配線器具〉 ●電源端子が露出しているもの ●破損しているもの ●固定が不十分でグラグラするもの		前面ガードを取り付けず使用しない けが・故障の原因となります。
	調光器・発電機には接続しない 器具の損傷・故障の原因となります。		器具や光源を布や紙などで覆ったり、燃えやすいものを近づけない 火災・損傷・故障・変形の原因となります。
 指示に従う	お手入れの際は、水洗いをしない 感電・ショートの原因となります。	 指示に従う	器具の取り付け・取りはずし・お手入れの際は安全のため電源を切る 通電状態でおこなうと感電の原因となります。
	温度の高くなるものを近くに置かない 器具の真下にストーブなどを置かないでください。 火災の原因となります。		端子の取付面にホコリが付着している場合は拭き取る ショート・火災の原因となります。 取り付け・取りはずしをする時は必ず角度調整つまみをしっかりしめた状態でおこなう 断線・ショート・発火の原因となります。 端子部分は配線器具の奥までしっかり取り付ける 落下によるけがの原因となります。 浴室など水気や湿気の多い場所や屋外で 使用しない この製品は非防水ですので、火災・感電・損傷の原因となります。 点灯中や消灯直後の器具にはさわらない 器具が高温になっており、やけどの原因となります。 濡れた手でさわらない 感電の原因となります。 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない 火災・感電・落下の原因となります。

注意			
 禁止	シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やカビ取り剤、クレンザー等を使用しないでください 器具を傷つけたり、変色、変質の原因となります。	 禁止	風を体に長時間あてないでください 健康を害することがあります。
	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しないでください 液もれ、発熱、破裂などの原因となります。		ガードの中に指などを入れないでください けがの原因となります。
	リモコンの電池は新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に入れないでください 液もれや破裂、火災などの原因となります。		髪をガードに近づけすぎないでください 髪がファンに巻き込まれてけがをする原因となります。
	市販の単4形充電池（リチウムイオン、ニッカド、ニッケル水素）などは使用しないでください 液もれや破裂、火災などの原因となります。		次のような所では使わないでください ●ガスレンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因となることがあります。
	本製品に衝撃や振動を与えないでください けが・やけどの原因となります。		光を長時間直射しないでください 目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
 指示に従う	本製品の一部分が破損した場合、そのまま使用を続けない。また、破損した部分に直接触れたりしないでください けが・やけど・落下の原因となります。	 指示に従う	器具で指定された取付方法を守り、確実に取り付けてください 熱を持ったり、故障・落下の原因となります。
	ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器の近くで使用しないでください 雑音の原因となることがあります。使用場合はできるだけ離して使用してください。		前面ガードを正しく取り付けてください 落下してけがの原因となります。
			被照射物との距離を近づけすぎないでください 色あせ・変色の原因となります。
	風の通りが悪い密閉型器具に取り付けしないでください 熱がこもり故障の原因となります。		連続照射・風の流れの影響を考えて設置してください 使用場所によっては、天井や壁紙などに悪影響のおそれがあるので注意してください。
		 指示に従う	設置して長期間使用している時は、外観に異常がなくても点検してください 点検せずに使用し続けると、火災・落下による感電・けがの原因となります。 リモコンの電池は＋－を正しく入れてください 間違えて入れると、故障するだけでなく液もれや破裂の原因となります。 長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いてください 長期間入れたままにしておくと液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因となります。 リモコンを廃棄するときは電池を抜いてください そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。 本製品は一般家庭用でご使用ください 店舗や業務用としてご使用されますと、保証期間内でも保証対象外となります。 リモコンを他社製の照明器具などには使用しないでください 正常に動作しません。 赤外線リモコンを採用した機器（テレビやエアコンなど）の近くで使用しないでください 機器が誤動作することがあります。 人感センサーなどの自動入切装置などには取り付けしないでください 正常に動作しません。

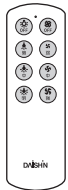
各部の名称

●本体



●付属品

- ・リモコン
使用電池：単4形アルカリ乾電池×2本（別売）
- ・取扱説明書

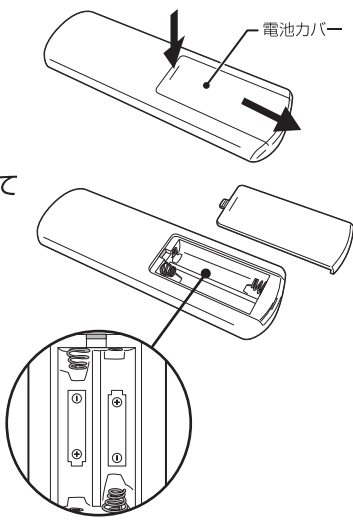


ご使用前の準備

●リモコンに乾電池を入れる

下記の手順で単4形アルカリ乾電池（別売）を2本入れてください。

1. リモコン背面の電池カバーを開く
電池カバーの上部を押しながら手前の方へスライドさせて開きます。
2. ⊕と⊖の向きに注意して正しく電池を入れる
電池カバーをはずして、電池を入れてください。
3. 電池カバーを閉める
電池カバーをスライドさせて元に戻します。カチッと音がするまで押し込んでください。



※使用済みの乾電池はお住まいの自治体の指示に従って処分してください。



注意

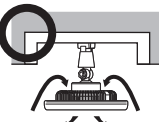
- 長期間（3ヶ月以上）使用しないときは、電池を取りはずしてください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池と一緒に使用しないでください。電池の液もれ、破裂、発熱の原因となります。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、＋を正しく入れてください。
- 電池の充電、ショート、分解、火への投入、加熱などはしないでください。
- 万一、液もれが起こった時は、よく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

取り付け方法

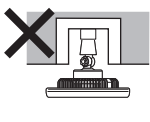
●取り付け環境の確認

※本製品は以下のような場所に設置することができません

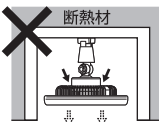
- ・調光機能のついた器具、回路（調光機能：電球の明るさを調節する機能です。100%点灯でも使用不可です）
- ・誘導灯・非常用の照明器具としての使用
- ・密閉型または密閉型に近い器具（適合表示器具を除く）
- ・湿度の高い場所、水がかかる場所、結露の発生する場所
- ・直射日光のあたる場所、火や熱源に近いところ
- ・リモコン発信場所から3m以上ある場所（正しく操作できません）
- ・配線器具以外の取付器具
- ・断熱材施工器具
- ・ペンダントソケット
- ・人感センサー付器具
- ・ダウンライト



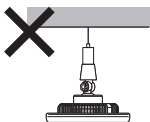
本体と器具の間に、十分なすき間（支柱と照明部を持って取り付け・取りはずしができる空間）がある場所に設置してください。



下向きの開放型器具でも奥まった位置（ダウンライトなど）に取り付けられないでください。取り付けができて、**風ができません**。また**取りはずせない**場合があります。

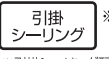
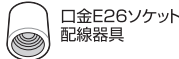
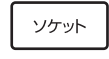


風の通りが悪い密閉した場所、密閉に近い場所、断熱材施工場所に取り付けられないでください。ファンが回っていても風が出ないことがあります。



ペンダントソケットはファン動作時に電源コードが回転してしまうおそれがあるため使用できません。また使用器具の種類によっては取り付けできない場合があります。

◎取り付けができる配線器具

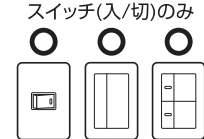


※天井に固定された配線器具をご使用ください

- ・口金E26ソケット配線器具が天井に固定されたもの
- ・口金E26ソケット配線ダクトレール用変換器具

△**注意** ダウンライトには取り付けられないでください。取り付けができて風ができません。また取りはずしができない場合があります。

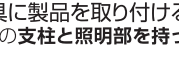
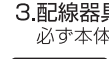
◎取り付けができる壁スイッチ



壁スイッチ（取り付ける電源）に調光機能がないことをご確認ください。調光機能のついた壁スイッチは使用できません。販売店・工事ににご相談ください。

●取り付け方法

1. 壁スイッチを「OFF(切)」にする
2. 本体の支柱を起こして固定する
出荷時、支柱は畳んだ状態になっています。角度調整つまみをまわしてギアをゆるめ、噛み込み（凹凸部）が開いたら支柱を起こしてください。その際、ギアの噛み込みを合わせて角度調整つまみをしっかりしめてください。
3. 配線器具に製品を取り付ける
必ず本体の**支柱と照明部を持って、両手**で取り付けをおこなってください。



- 支柱を左（反時計回り）に回して口金を配線器具に取り付けてください。
- 強く回しすぎると配線器具の破損の原因となります。

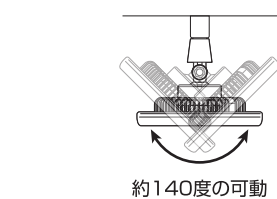
引掛シーリング

- 支柱部を持ち接続端子を配線器具に差し込み、**左（反時計回り）にカチッと音がなるまで回して**取り付けてください。

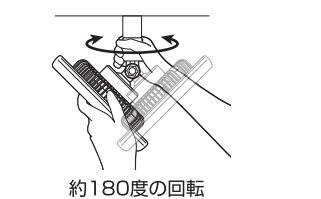
※必ず最後まで回し確実に取り付けてください。落下によるけがの原因となります。

●角度調整・可動範囲

本体設置後、角度調整つまみをゆるめ本体の傾きをお好みで（約140度可動）調整し、角度調整つまみをしっかりとめて固定してください。また、本体の向きを変える場合は約180度回転させることができます。



約140度の可動



約180度の回転

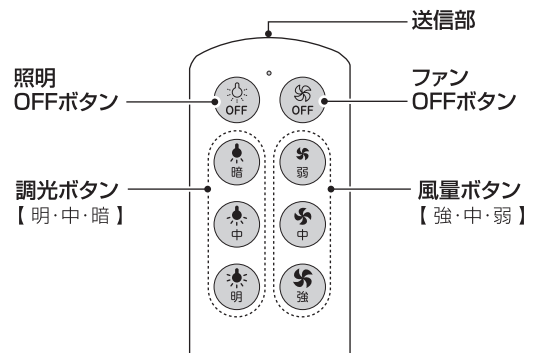


警告

- 角度調整つまみをゆるめたまま、角度調整や回転をしない。
- 必ず**支柱と照明部を持って角度調整**をおこなう。
断線・ショート・故障・発火の原因となります。

使い方

●リモコンボタンについて



◎リモコン操作

リモコン操作は、リモコン送信部を本体にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

★使用可能範囲

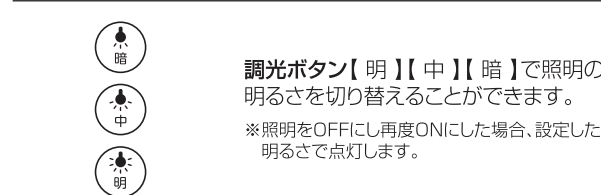
※本体リモコン受光部正面から半径約2m以内（目安）
※リモコン送信部と本体のリモコン受光部の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
※リモコンの電池残量が少なくなると、受光範囲が短くなります。

●操作のしかた

1. 壁スイッチを「ON(入)」にする
照明が点灯します。（ファンは動作しません）
※壁スイッチが「OFF(切)」の場合は照明・ファン共に動作しません。

2. リモコンを操作する

◎照明の明るさ設定



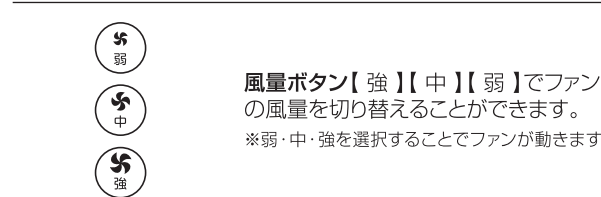
調光ボタン【明】【中】【暗】で照明の明るさを切り替えることができます。
※照明をOFFにし再度ONにした場合、設定した明るさで点灯します。

◎照明の電源を「OFF」にする



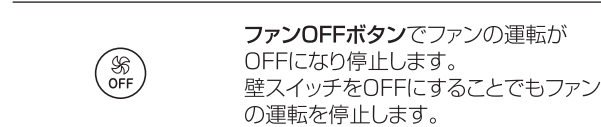
照明OFFボタンを押すとOFFになり、照明が消灯します。壁スイッチをOFFにすることででも消灯します。

◎ファンの風量設定



風量ボタン【強】【中】【弱】でファンの風量を切り替えることができます。
※弱・中・強を選択することでファンが動きます。

◎ファンを「OFF(切)」にする



ファンOFFボタンでファンの運転がOFFになり停止します。壁スイッチをOFFにすることでファンの運転を停止します。

△ ファン切り忘れ防止安全機能について

最後に操作してから約1時間が経過すると、ファンの運転が自動的にOFFになります。続けてご使用になる場合は再度リモコンで操作してください。
※ファンは壁スイッチのON/OFFでは動作しません。

お手入れについて

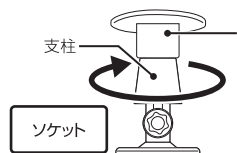


警告

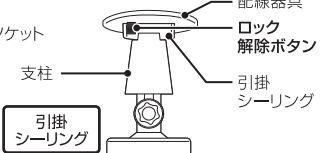
必ず壁スイッチを「OFF(切)」にし、配線器具が冷えてからは必ず消灯直後の器具には触らない。
器具が高温になっており、やけどの原因となります。

●配線器具からの取りはずし方

- ※取りは**ずす**前に壁スイッチを「OFF(切)」にする
- ※図のように必ず本体の**支柱と照明部を持って両手**で取りは**ずし**をおこなってください。



ソケット



引掛シーリング

支柱を右（時計回り）に回して、口金をソケット配線器具（口金E26）から取りはずしてください。

引掛シーリングにある**ロック解除ボタン**を押しながら、支柱を右（時計回り）に回して、配線器具から取りはずしてください。

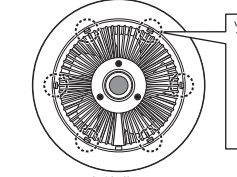


注意

ロック解除ボタンを確実に押さないまま、無理に取りはずすと破損し、けが・感電・ショート・火災の原因となります。

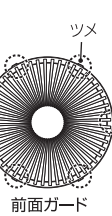
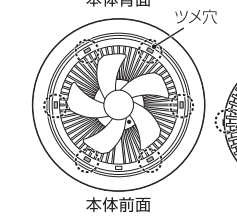
●前面ガードの取りはずし方・取り付け方

◎前面ガード・ファンのお手入れは、前面ガードをはずしておこないます。



本体背面にある固定されている6ヶ所のツメを背面から押し出して前面ガードを取りはずします。

※ファンは取りはずすことができません。



前面ガード裏側にあるツメを本体のツメ穴に合わせて取り付けます
※ツメがしっかりと固定されていることを確認してください。



警告

●前面ガードを取り付けずに運転しない。
事故・故障の原因となります。

●お手入れについて



注意

前面ガードをはずす際、十分に注意してください。
けがの原因となります。

★製品は定期的にお手入れしてください

使用しているうちに風が弱くなった場合、ファンや前面ガードにホコリなどが付着して、風量が低下している可能性があります。柔らかい布をぬるま湯が薄めた中性洗剤につけ、よく絞ってから拭き取ってください。
樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となります。前面ガード・背面ガードについたホコリは、すき間用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。



禁止

- シンナー、ベンジン、アルコール、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきん、クレンザー、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しない。変色・変形の原因となります。
- 本体に水をかけて洗わない。
感電・故障の原因となります。

ホコリなどの汚れがついていないように見えても風が弱くなったと感じられる時は、お手入れで改善することがあります。

●保管のしかた

長期間（3ヶ月以上）設定を変更せず、リモコンを使用しない時は電池を取りはずしておいてください。本体を取りはずして保管する場合は、お手入れをして十分乾燥させてから、ホコリがつかないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保管してください。